



師走に入り、今年も終わりを迎えようとしています。寒さもより一層強くなり、体調管理も大変かと思いますが、風邪などひかない様お身体大切になさってください。

今回は、SKS-3についてご説明致します。来月には新しい年となりますが、気持ちを新たに、より一層頑張ってお参りますのでよろしくお願い致します。今年も大変お世話になり有難うございました。(望月)



＜編集者＞
塚原 佳由
望月 博隆
村松 貴
赤木 健三
山田 幸平

鋼種 Q & A

～ SKS-3 について ～

社長の ワンポイント

『SKS-3』とは、JIS規格（日本工業規格）での呼び名であり、SKSの“S”はSteel “K”はKogu（工具） “S”はSpecialの訳です。

前回のSK-3同様に三大特殊鋼の一つで、冷間合金工具鋼であります。用途としては、耐衝撃用、冷間金型用に用いられており、ゲージやシャー刃、プレス型などに良く使われています。

特殊元素のタングステンを添加しているため、焼入れ後の変形が少なく、SK材の変形に比べて半分以下の変形しかしないとされています。

＜SKS-3 焼入れについて＞

- ・焼きなまし温度 750～800徐令
- ・焼きなまし硬度 HB217以下
- ・熱処理温度 焼入れ 830油令 焼戻し 180空令
- ・焼入焼戻し硬度 HRC60以上

★補足★

○日立：SGT ・ 大同：GOA など、メーカーによって呼び名が変わります。

○SKS-2：ゲージ鋼 磨品 SKS-3：黒皮など通常使用 SKS-21：研



県内の動向

○国中エリア○

半導体、自動車関係の動きはまだまだ好調です。家電などその他は依然として厳しい状況が続いているように感じます。

来年の動向では、『4月からの消費税UPに伴い、4月までは何かしら動くが、その後は非常に厳しくなる』との意見と、『消費税の影響はそんなに関係せず現状のままだろう』との二つの意見を聞きます。

最近、近隣諸国の動きも何かと騒がしくなっています。経済への影響も懸念され始めていますので注目していきたい所です。

○郡内エリア○

12月に入り、より一層厳しさが増しているように感じます。仕事量も、大手や一次下請けまではありますが、郡内エリアにおける半導体関係、工作機械メーカーの状況は変わらずといった感じです。

半導体関係は、他の半導体会社が一勝ちといった感じで郡内エリアにおいては影響があまり無く、工作機械メーカーでは、一社が大口の受注が入ると噂がりましたが、今のところ幻になっています。来年の動向としては、2月ぐらいから増産する予定があるそうです。

自動車、医療関係は安定して仕事があり、自動車関係では、仕事量がメーカーによってひらきがあり、T社、N社が好調のようです。これからの駆け込み需要や突発などの動向に注意していきます。



○上野原エリア○

12月に入り、（仕事量が増えて忙しくなってきた）と、言われるお客様が増えた様に感じています。

半導体関係、エコカー関係、海外向け輸出自動車部品の仕事は依然として良い動きをしています。

12月初め辺りから、医療関係やロボット部品の仕事も動き出して来ています。

また、年明けに新規立ち上げの仕事がスタートするとの話を聞いています。

年内納期の突発・短納期などの仕事は依然として多い状況です。